

・杉並区立中瀬中学校 学校運営協議会だより【令和4年11月】・

中瀬中学校 学校運営協議会

会長 篠原 宣武

・令和4年11月21日学校運営協議会の概要・

1. 第8波コロナ感染拡大の中での・学習・行事・3年生受験準備・仮校舎の状況などを伺いました。
 - ①コロナ陽性者は増加の傾向で、教員もちょっとした接触で感染するなど気の抜けない状況です。

高熱・味覚臭覚異常・倦怠感継続・複数回感染・・・状況は厳しく、インフルエンザとのダブル流行も危惧される中で、換気徹底・密集を避けるなど最大限の注意が払われているようです。

定期試験中感染生徒には後日受験・別室受験・3年生の面談延期などの対応がされています。
 - ②高校の学校見学は人数限定・事前予約で可能な学校が多くなり、昨年一昨年のオンライン中心に比べ実際の雰囲気を理解しての学校選びが出来、ミスマッチによる中退などが避けられそうです。

都立高校は全てインターネット出願方式となり、各自で写真を撮り生徒用タブレットも使用可能、電子化の早期導入はコロナ効果とも言えそうです。(受験料払い込みなどで未だ制約有りですが。)
 - ③オンライン化は学校と保護者との連絡方式に及び、当校の事例なども活かされたのか区教委から令和6年度をめどに「まなびポケット保護者連絡機能」全校実施・ペーパーレス化の方向が出されました。
 - ④中瀬検定1年生女子40問制覇・2年生女子80問制覇などの好例、明星高校生を招いての異学年グループワーク・SDGsでは大学生による起業経験の授業など、興味深い成果や予定も有るようです。
 - ⑤新標準服と共に検討していた「新モデルジャージ」「上履き」共に物価高騰の影響で価格アップの見通しになり、負担増を避けるため変更せずそのままの方向で・・・のようです。

将来的には一定の範囲内で自由選択(標準を決めず)も視野に有るようです。
 - ⑥仮設校舎の検査は11月に終わり12月から使用開始、教室の移動や変更だけでなく給食配膳ルートなど細かく検討が進められています。仮校舎も体育館も近隣地域や建築法の関係で低天井のようです。
 - ⑦杉並区教育課題研究指定校としての教員の研究発表(1/20)準備が進められています。(いずれ別途)
2. 区教委から校長に示された「令和5年度教育課程編成の重点」を説明頂き、意見交換をしました。
 - ①「杉並区教育ビジョン2022」がベースとなり(視点1)子どもの思いを尊重する(視点2)ちがいを認め誰もが共に生きるの2点を来年度教育課程編成の視点とすることが求められています。

子どもの尊厳尊重・多様性・社会的共生・多様な子どもがいる前提の学校生活・自分で自分たちで学び生活・共に学校づくり地域づくりなど、既に多くは当校の令和3年度教育目標と合致しています。
 - ②当校では昨年度生徒会が「中瀬生徒憲章」を宣言、「生徒主体の中瀬中を作る」に動いています・・・これは一歩先行と評価出来るのでは？と思われます。諸行事の運営は生徒が主体となり、教員・PTA・支援本部などがこれをサポートする・・・「チーム中瀬」の一つの形です。

*生徒会役員との交流会を、次回運営協議会の後に予定しています。(別途報告)

以上

【運営協議会予定】

次回 12月12日(月)14:30～(16:00～生徒会役員との交流会予定)

以降 令和5年1月27日(金) 2月17日(金) 3月13日(月) いずれも15:00～

(CS広報 月刊版)